

企画セッション

◆ 大学発ベンチャーと特許の価値 ◆

【概要】

新たなイノベーション創出のために Deep Tech 系の大学発ベンチャーへの期待が高まっている。「技術立国」として世界をリードしてきた日本は、その存在感を急速に失ってきたが、大学発ベンチャーは、日本のイノベーション復活の鍵となるとも言われる。そうした Deep Tech 系ベンチャーにとって、起業初期は、特許が唯一無二ともいえる重要な財産となることが多い。しかし、特許技術が大学の研究成果である場合、その特許権自体は大学が保有していることが多い。そこで大学発ベンチャーを支援しつつ、大学に適正な対価が支払われる仕組みが重要となる。近年は、大学発ベンチャーが特許権のライセンスを取得する対価に新株予約権を活用するケースも増えている。そうした背景を踏まえ、本セッションでは、有望な大学発ベンチャー社長と VC (ベンチャーキャピタル)、そして専門家を交え、大学発ベンチャーと特許の価値について討議を行う。

【日時】 2019 年 12 月 8 日 (日) 13:00-14:30

【登壇者】

(パネリスト)

1. メディギアインターナショナル 代表取締役 田中武雄
2. みらい創造機構 代表取締役社長 岡田祐之
3. 横浜市立大学 准教授 芦澤美智子
4. モバイル・インターネットキャピタル マネージングディレクター 元木新 (モデレーター)
5. 東京工業大学 知的財産部門長、ベンチャー育成部門長、特任教授 武重竜男

【登壇者略歴】

1. メディギアインターナショナル 代表取締役 田中武雄

東工大大学院にて機械物理工学を専攻、神戸製鋼で極限技術からロボット等の研究開発に従事、JETRO に出向後石炭液化プロジェクトで FS 担。企画本部にて半導体事業戦略を策定し、検査サービス事業で東証 2 部上場、テキサスインスツルメンツとの合弁事業を設立。KOBELCO USA にて次世代半導体・次世代磁気メディアの研究所設立や M&A を推進。インターネット開放時に米国で独立し、データ圧縮、暗号技術、インメモリーデータベース等の IT-VB を設立。クラウド環境でのビッグデータ処理対象として医療分野を指向。メディギアは 2013 年 4 月に創業、CEO に。2015 年東工大大学院に再入学、生体分子機能工学を修了し、現在 PhD. Candidate。

企画セッション

◆ 大学発ベンチャーと特許の価値 ◆

2. みらい創造機構 代表取締役社長 岡田祐之

2014年にみらい創造機構を設立、社長就任。1996年東京工業大学大学院総合理工学研究科エネルギー科学専攻修了後、同年東京電力(現東京電力ホールディングス)入社。原子力部門にて新技術開発に従事。TNPパートナーズ出向、ハンズオン支援を手掛ける。「大企業と中小企業」、「事業会社と金融」を理解し、事業組成からサービス化、営業戦略までの戦略立案と実行の経験を積む。

3. 横浜市立大学 准教授 芦澤美智子

2013年4月から横浜市立大学国際商学部准教授。公認会計士、プライベートエクイティファンドでの勤務経験等を生かして、ファンドが産業や企業の変革に果たす役割について研究している。ここ数年は、スタートアップエコシステム形成の研究にも力を注ぎ、内閣府の調査チームに参加。横浜市のスタートアップ拠点政策提案にも取り組んでいる。

2014年M&Aフォーラム賞受賞。現在、2社の上場企業(ネットイヤーグループ、NEC ネットエスアイ)の社外取締役、横浜市の各種委員等を務めている。

4. モバイル・インターネットキャピタル マネージングディレクター 元木新

日本技術貿易(株)にて、電器・情報分野の特許/論文情報を利用した調査コンサルティングに従事。技術の先行例調査、特許権侵害防止調査、最先端技術の動向/情報の収集・分析、知財戦略の構想策定・実行支援のコンサルティングを経験した後、2011年6月に同社参画。慶應義塾大学大学院理工学研究科 修士課程修了。早稲田大学大学院商学研究科 ビジネス専攻MOT(技術経営)コース修了。

5. 東京工業大学 研究・産学連携本部 副本部長、

知的財産部門長、ベンチャー育成・地域連携部門長、特任教授 武重竜男

2018年4月から東京工業大学にて知的財産(権利化・ライセンス)、大学発ベンチャー育成、地域連携を統括。1997年特許庁入庁。審査官、上級審判官、各国と特許審査ハイウェイ締結、先使用権制度ガイドライン執筆、知的財産戦略事例集執筆など。東京工業大学卒(無機材工)、法政大学卒(法律)、米国ワシントン大学ロースクール修了(LL.M.)、米国弁理士試験合格。UNITT(大学技術移転協議会)理事。

以上